



広島県におけるリスクリング推進の 取組について

令和7年3月17日

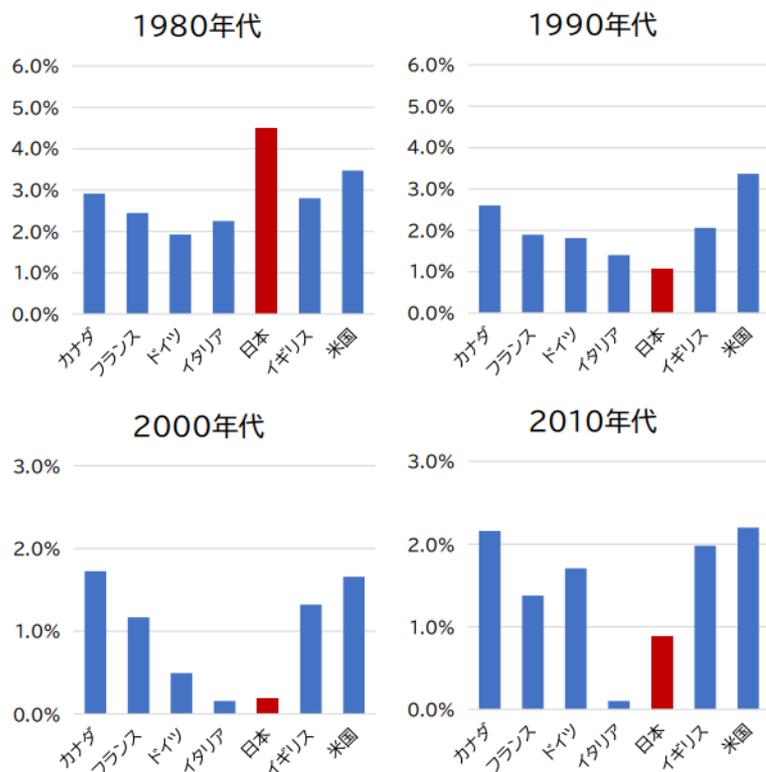
広島県 商工労働局 人的資本経営促進課 平賀 崇史

1. 広島県におけるリスキリング推進の取組
2. 「リスキリング伴走コンサルティング事業」を通じた支援事例
3. 企業のさらなるリスキリングの実践・定着に向けて

広島県におけるリスキリング推進の取組

リスキングに着目した背景

経済成長率（実質GDPの伸び率）の国際比較



国際通貨基金Webサイト（閲覧日：2023年6月23日）に基づき作成

$$\text{GDP (国内総生産)} = \text{労働生産性} \times \text{労働投入量}$$

$$= \text{労働生産性} \times \text{就業者数} \times \text{1人あたりの労働時間}$$

$$\text{労働生産性} = \text{時間当たり付加価値額}$$

$$= \frac{\text{付加価値額 (営業利益や人件費など)}}{\text{従業員の労働時間数}}$$



労働生産性の増大には、
こんなことが有効！



新たなビジネスで
付加価値を生み出すこと
(分子の増大に寄与)



業務効率化により、
少ない労働時間数で
同じ生産量を達成すること
(分母の減少に寄与)

県内経済界等を巻き込んだ取組

- 産学官の関係者や有識者等で構成する「**広島県リスキリング推進検討協議会**」を令和4年4月に設置。
- 以下のテーマにおいて議論を重ね、令和5年7月に最終報告書を公表。

議論の テーマ

- ① 今後求められる必要な**スキル**
- ② 働きながら学ぶために必要な**労働環境**や**雇用管理**
- ③ 労働市場の流動化を踏まえた**社会システム**等

広島県リスキリング推進検討協議会

スキル分科会

雇用環境分科会

<協議会の体系図>



<協議会の様子>

外部環境の変化（DX等）による新たな業務需要の拡大と減少に対応して、企業等の経営戦略や人材戦略のもと、

- ① 企業の主導によって、
- ② 従業員が今後の新たな業務などで必要となる知識やスキルを習得し、活用（業務を創造・高度化）すること

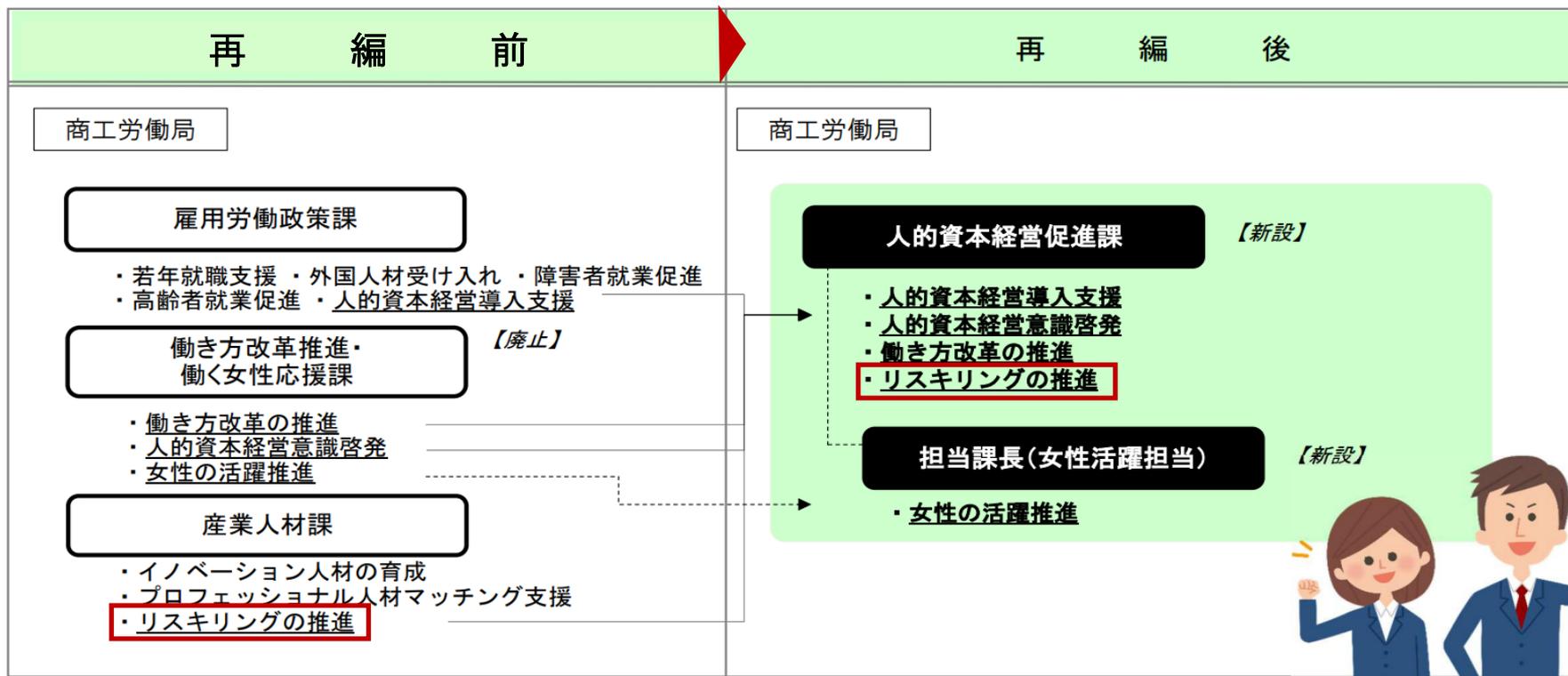


【目次】

1. 社会経済環境の変化とリスキリングの必要性
2. リスキリングの基本的な考え方
3. リスキリングの目的・効果
4. DX進展の全体像とスキルの整理
5. リスキリングの取組手順、ポイント
6. 企業の取組事例

リスキングを押し進める組織体制の整備

- リスキングを含めた人的資本経営に関連する各種事業を、令和6年度からは「**人的資本経営促進課**」の新設により集約。



「日経リスキングアワード2024」の受賞

- 日本経済新聞社を事務局とする日経リスキングコンソーシアムの事業の一環として実施されている「日経リスキングアワード2024」において、本県の取組が「公共団体部門 最優秀賞」を受賞。



- 令和4年度 of 取組開始から、「機運醸成」・「実践支援」を軸に事業を展開。
- 令和6年度からは、新たに開始した「リスクリング伴走コンサルティング事業」をはじめ、実践支援をより一層強化。

機運醸成

- リスクリング推進宣言制度
→ **423** 社が登録
(R7.2.28時点)
- 意識啓発・理解促進イベント
- 情報発信ポータルサイト 等



広島県リスクリング推進宣言

R4
R5
年度
～

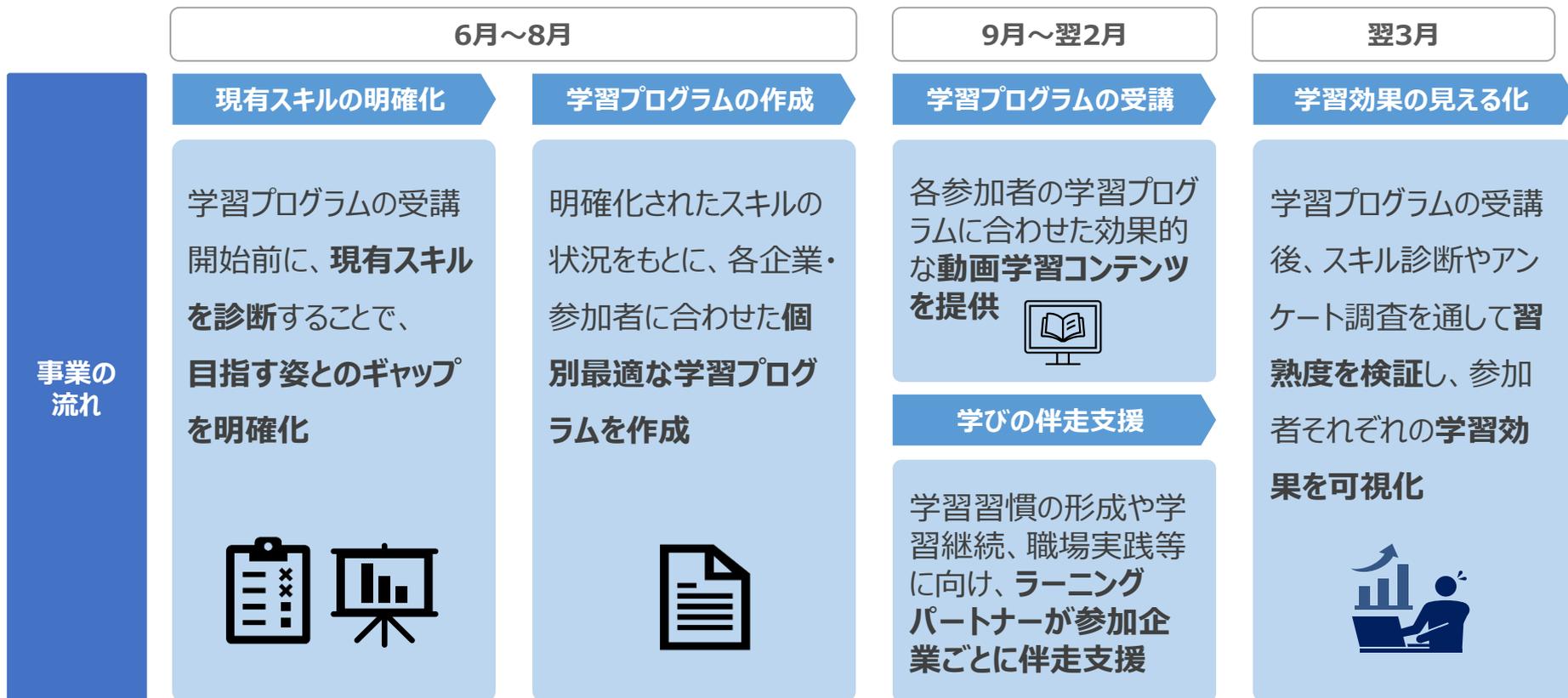
- ITパスポート取得支援補助金
- 人材開発支援助成金活用支援補助金

R6
年度
～

- **リスクリング伴走コンサルティング**
- デジタルリテラシー習得コンテンツ
- 評価・処遇制度導入イベント
- 企業コミュニティ形成 等

「リスキリング伴走コンサルティング事業」を通じた支援事例

事業の概要



※参加企業のうち1社については、「スキル可視化ツール」もあわせて活用

本事業への参加企業



企業名	業種	事業内容	従業員数
A株式会社	漁業	牡蠣をはじめとした魚介類の養殖、販売（水産加工品含む）	約10名
社会福祉法人B	医療・福祉	特別養護老人ホームやケアハウス等、各種医療・福祉サービス事業所の運営	約200名
C株式会社	製造業	自動車、船舶、建設機械等に使用される金属リング製品の製造	約150名
D株式会社	建設業	道路工事や治山工事、河川工事、下水工事等の土木工事	約30名
株式会社E	製造業	パンや洋菓子・和菓子等の製造及び販売	約180名

事例①：A株式会社（漁業）

参加の背景

- 市場環境や海洋環境が変化している中、**海外への販路開拓**や**漁業のIoT化**等を進めるにあたり、社員のスキルアップが必須。
- 若手社員を中心に、**質の高い外部教育を実施する必要**。

学習内容

- 海外での営業活動を進めるため、**ビジネス英語**や**営業スキル**等を学習。
- 生成AIの活用**や**デジタルマーケティング手法**等についても幅広く学習。
- 養殖場等へ移動する**船上での時間も活用**し、学習時間を確保。

成果

- 事業実施期間中に**1名が海外へ赴任**。現地での**商談において学習した内容を活用**。



<船上での作業の様子>

事例②：社会福祉法人B（医療、福祉）

参加の背景

- 介護業界においては**人手不足**が常態化。
- 介護における「**直接的ケア**」の**質・量を上げていく**ために、デジタルを活用し「**間接的業務**」を**効率化**していくことが必要。

学習内容

- 「**間接的業務**」の効率化を目指し、デジタルの基礎的な知識を中心に学習。
- また、その他にも**チームマネジメント**や**ストレスマネジメント**についても学習。
- 管理者がシフト調整等を行い、**職員の学ぶ時間を業務時間内で確保**。

成果

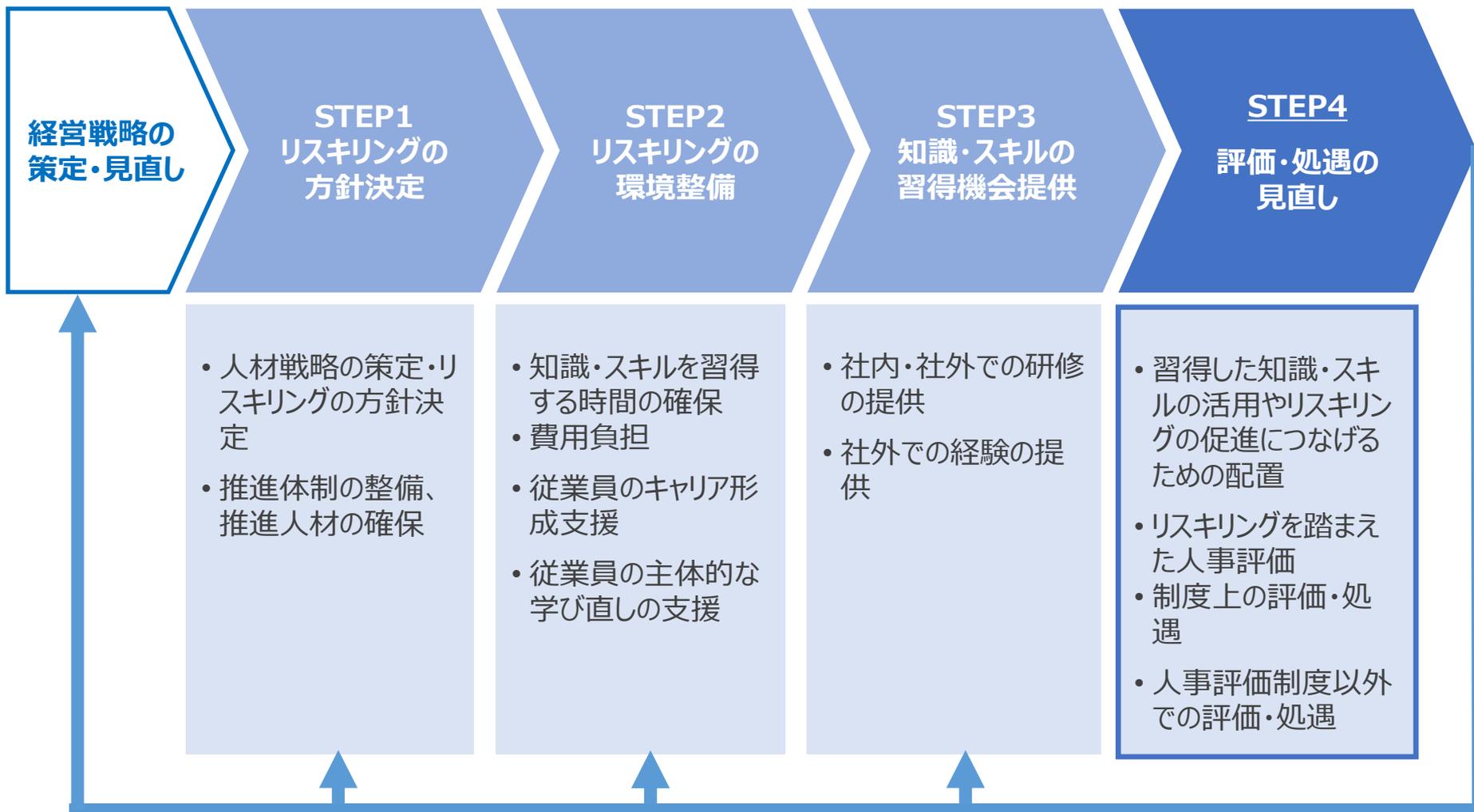
- 職場内の情報共有をスムーズにするための**業務アプリを作成**。



<作成した業務アプリの画面>

企業のさらなるリスキリングの実践・定着に向けて

企業のさらなるリスキングの実践・定着に向けて



「リスキリング」が 企業の魅力・価値を向上させる！

ご清聴ありがとうございました



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/>